

2020 年度 E.FORUM 「コロナ禍において奮闘する先生方のためのオンライン・リレー講座」 実施の様子

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM では、7月から8月にかけて「コロナ禍において奮闘する先生方のためのオンライン・リレー講座」をオンライン（Zoom による同時配信）で開催しました。全4回の研修に、延べ474名の方が申し込んでくださいました。

- 第1回:2020年7月5日(日)
【演題】「子どもたちの学ぶ権利を保障するとはどういうことか
——with コロナの中で」
【講師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 石井英真
- 第2回:2020年7月19日(日)
【演題】「コロナ禍において求められる批判的思考力」
【講師】京都大学大学院教育学研究科・教授 楠見孝
- 第3回:2020年8月2日(日)
【演題】「コロナ禍において求められる批判的思考力」
【講師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 西見奈子
- 第4回:2020年8月16日(日)
【演題】「コロナ禍におけるカリキュラム・マネジメント
——パフォーマンス評価をどう活かすか」
【講師】京都大学大学院教育学研究科・教授 西岡加名恵



【参加者のご感想】

「コロナ禍における学習では『つながり』が重要（「宛名があることで学び化される」等）であること、『結果として平等に』（手立ては個々に応じて変える）という発想が重要であることを学びました。……第2波に対してどのように備えていくか、少し見通しをもつことができました」、「批判的思考は、教科の授業づくり、教科としての道徳、学級づくり（学習集団づくり）の上でとても重要だと考えております。……[教師や子どもたちがもつ]それぞれの観の前提に耳を傾けることの大切さ、そして、そのための視点を学べたことはとても有り難かったです」、「今の状況下、子どもを支援する立場である教員が、頑張りすぎていないか、さらに支援を受ける側にも無理をさせていないか、立ち止まって考えることが大事だと気づきました。言語化カタルシスの誤解について大変興味深く拝聴しました」、「コロナ禍であるが故に、全ての教育のあり方について、見直すきっかけをいただいた。オンラインでのミーティング、研修方法についても勉強になりました」、「グループでの話し合いが充実していてよかったです。それぞれに取り組まれている内容を知ることによって、学びが深まりました。素敵な先生方ばかりでした」といった感想が寄せられました。